
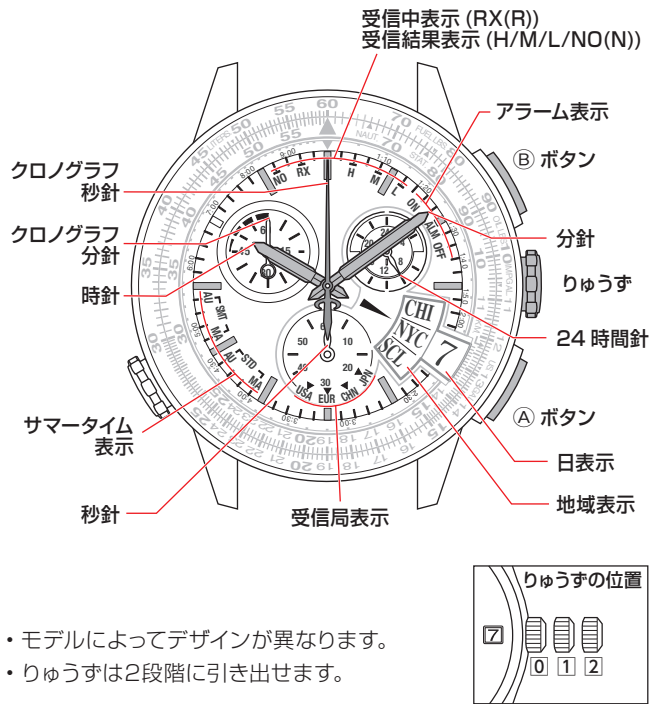


H610 簡易操作ガイド

- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。

 H610 取扱説明書

各部の名称



- モデルによってデザインが異なります。
- りゅうずは2段階に引き出せます。

電波の受信結果と充電量を確認する

この時計は、標準電波を毎日午前2時に受信し、時計 / カレンダーを自動で合わせます。午前2時に受信できなかったときは、午前3時、午前4時に再度受信を試みます。

- クロノグラフを使用しているときは、この操作はできません。

1. りゅうずの位置を 0 にする

2. (A) ボタンを押す

クロノグラフ秒針が電波受信の結果を、クロノグラフ分針が充電量を示します。



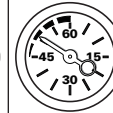
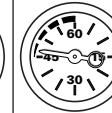
- このとき秒針は電波の受信局を示します。受信局について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

電波受信の結果

表示	受信結果
H	非常に良い環境で電波を受信中または受信したとき
M	良い状態で電波を受信中または受信したとき
L	良くない状態で電波を受信中または受信したとき
NO(N)	受信に失敗したとき (手動で受信を行ってください)

- モデルによって、秒針の「先の部分」で指すものと「尾の部分」で指すものがあります。
- [H]、[M]、[L] の表示は、受信環境の適性を示すもので、時計の受信性能には関係はありません。

充電量表示

表示				
充電残量	十分に充電されている	安心して使える	そろそろなくなる	ほとんどない
			すぐに充電が必要です。	

- 充電量表示は目安です。常に充電するよう心がけてください。

3. (A) ボタンを押して、確認を終了する

地域を設定する

- この時計では、表示中の地域によって、電波受信の受信局が異なります。ご利用の際は、地域設定にご留意ください。

1. りゅうずの位置を 1 にする

クロノグラフ秒針が、サマータイム設定を示します。

2. りゅうずを回し、地域を選ぶ

- 「地域名一覧」から選びます。
- 地域名が地域表示の中央に表示されるようにします。
- 地域を変更するごとに、その地域の時刻が表示されます。

3. りゅうずの位置を 0 にして、終了する

地域名一覧

略称	地域名	時差	受信局
UTC	協定世界時	0	—
LON	ロンドン	0	EUR
PAR	パリ	+1	
CAI	カイロ	+2	
MOW	モスクワ	+3	EUR ◆
DXB	ドバイ	+4	CHN ◆
KHI	カラチ	+5	
DEL	デリー	+5.5	
DAC	ダッカ	+6	
BKK	バンコク	+7	CHN
HKG	香港	+8	
TYO	東京	+9	
ADL	アデレード	+9.5	JPN ◆
SYD	シドニー	+10	
NOU	ヌーメア	+11	
AKL	オークランド	+12	
MDY	ミッドウェイ諸島	-11	USA ◆
HNL	ホノルル	-10	
ANC	アンカレジ	-9	
LAX	ロサンゼルス	-8	
DEN	デンバー	-7	USA
CHI	シカゴ	-6	
NYC	ニューヨーク	-5	
SCL	サンティアゴ	-4	USA ◆
RIO	リオデジャネイロ	-3	
FEN	フェルナンド・デ・ノローニャ諸島	-2	
PDL	アゾレス諸島	-1	

- 一覧表にない地域で時計を使用する場合は、同じ時差の地域を設定してください。
- 一覧表の時差は、UTC (協定世界時) からの時差です。
- 時差は、国や地域の事情により変更される場合があります。
- ◆の地域は受信範囲外であり、受信することはできません。(受信時には各局の電波を受信しようと動作します)
- 電波の届きにくい環境では、電波を受信できないことがあります。

電波を手動で受信する(強制受信)

- ・クロノグラフを使用しているときは、この操作はできません。
- ・設定した地域によって受信局は異なります。
- ・地域設定が「UTC」のときは、受信はできません。

1. りゅうずの位置を 0 にする

2. ① ボタンを2秒間以上押す

電波受信の結果と、充電量が表示されます。「ピッ」音とともに、強制受信が始まり(2分～15分)、クロノグラフ秒針が「RX(R)」を示します。

- ・受信を中断したいときは、① ボタンを2秒間以上押します。

サマータイムを設定する

サマータイムを行っている地域では、標準電波にサマータイム信号が含まれます。

- ・地域設定が「UTC」のときは、サマータイム設定はできません。

1. りゅうずの位置を 1 にする

クロノグラフ秒針が、サマータイム設定を示します。

2. ① ボタンを押して、サマータイム設定を行う

- ・① ボタンを押すごとに、サマータイム設定が切り替ります。
SMT AU → SMT MA → STD AU → STD MA → (始めに戻る)

地域の状況	設定値	時刻表示
サマータイムを行わない	STD MA	常に標準時刻が表示されます。
サマータイム信号と異なるタイミングで、サマータイムが実施される	SMT MA	常にサマータイムが表示されます。サマータイムが実施されない期間は、手動で「STD MA」に合わせます。
サマータイム信号に合わせて、サマータイムが実施される	SMT AU STD AU	サマータイム表示(SMT AU)と標準時刻表示(STD AU)が、自動で切り替わります。

- ・サマータイムの実施期間は、国や地域によって異なります。
- ・SMT(summer time、サマータイム)、AU(auto、自動)、STD(standard、標準時刻)、MA(manual、手動)

3. りゅうずの位置を 0 にして、終了する

時刻とカレンダーを手動で合わせる

- ・この時計のカレンダーは、うるう年を含む2100年2月28日まで、修正不要です。(パーペチュアルカレンダー)

1. りゅうずの位置を 1 にする

クロノグラフ秒針が、サマータイム設定を示します。

2. ② ボタンを押す

クロノグラフ秒針が30秒を指します。

3. りゅうずの位置を 2 にする

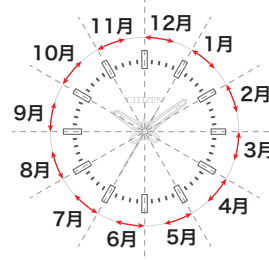
時刻 / カレンダー合わせができるようになります。

4. ③ ボタンをくり返し押して、修正する対象を選ぶ

- ・③ ボタンを押すごとに、次のように切り替わり、修正対象の針 / 表示がわずかに動きます。
分針 / 秒針 → 時針 / 24時間針 → 日表示 → 年 / 月 → (始めに戻る)

5. りゅうずを回して、時刻、日表示、年、月を合わせる

- ・りゅうずを素早く回転させると、各針 / 表示が連続して動きます。りゅうずを少し回すと止まります。
- ・日表示を合わせるときは、最後にりゅうずを右に回転させて、位置を決めてください。
- ・年と月は、クロノグラフ秒針で表示されます。
月は、時刻の「時」の範囲で示されます。

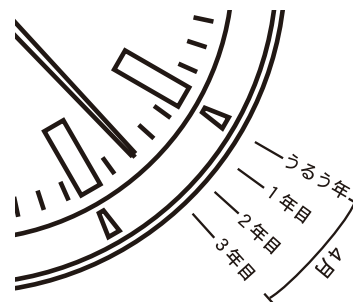


年は、うるう年からの経過年数で表示され、各月の範囲内でのクロノグラフ秒針の位置で示されます。

うるう年からの経過年数については、サポートページに詳しい解説があります。

(例) 2020年4月に合わせるときは

4月 → 4時の範囲
2020年 → うるう年



6. 手順4と5をくり返す

7. 時報に合わせて、りゅうずの位置を 0 にする

秒針が動きはじめます。

クロノグラフを使う

- 0.2 秒単位、最大 60 分まで使用できます。
- 計測中にリ्यूズを引くと、計測が停止します。
- 充電量が「ほとんどない」ときは、使用できません。

1. リ्यूズの位置を 0 にする

2. ㊸ ボタンを押す

- クロノグラフ秒針・分針が、動き始めます。
- スタート/ストップ: ㊸ ボタンを押します。
- リセット: ストップ中に、㊸ ボタンを押します。
- クロノグラフ終了後は、必ずリセットを行ってください。

アラームを使う

- 表示中の地域の時刻に合わせて、アラーム音が 15 秒間鳴ります。
- アラームは、地域ごとには設定できません。

1. リ्यूズの位置を 2 にする

- クロノグラフ秒針が、現在のアラーム設定(「ON」または「OFF」)を示し、各針が現在のアラーム設定時刻を示します。
- ㊸ ボタンを 2 秒間以上押すと、アラーム音を確認することができます。

2. リ्यूズを回し、アラーム時刻を設定する

- アラーム時刻の午前午後の区別は、24 時間針で確認します。
- ㊸ ボタンを押すごとに、アラーム時刻の「分」と「時」の設定が切り替わります。
- リ्यूズを素早く回転させると、針が連続して動きます。リ्यूズを少し回すと止まります。

3. ㊸ ボタンを押して、アラームを「ON」にする

- ㊸ ボタンを押すごとに、アラームの「ON」と「OFF」の設定が切り替わります。

4. リ्यूズの位置を 0 にして、終了する

- リ्यूズの位置が 1 または 2 のときは、アラームは鳴りません。

アラーム音をとめるときは

- ㊸ ボタンまたは ㊸ ボタンを押します。

基準位置を確認する

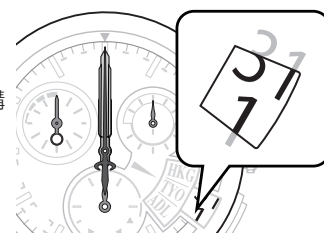
- クロノグラフを使用しているときは、この操作はできません。

1. リ्यूズの位置を 0 にする

2. ㊸ ボタンを 10 秒間押しつづける

- 各針が高速で動き出し、現在の基準位置が表示されます。

- 正しい基準位置:
すべての針が 12 時の位置、
日表示が「31」と「1」の間
・地域表示はどの地域でも構
いません。



- 現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「基準位置を修正する」に従って、基準位置を修正します。

3. ㊸ ボタンを押して、確認を終了する

基準位置を修正する

- クロノグラフを使用しているときは、この操作はできません。

1. リ्यूズの位置を 0 にする

2. ㊸ ボタンを 10 秒間押しつづける

- クロノグラフ秒針が動き出します。その後、各針 / 表示が高速で動き出し、現在の基準位置が表示されます。

3. リ्यूズの位置を 2 にする

- 基準位置の修正ができるようになります。

4. ㊸ ボタンを押す

- ㊸ ボタンを押すごとに、修正対象が次のように切り替わり、針 / 表示が少し動きます。
クロノグラフ分針 / 日→時針 / 24 時間針→分針 / 秒針→クロノグラフ秒針→(始めに戻る)

5. リ्यूズを回して、すべての針 / 表示を正しい基準位置に修正する

- リ्यूズを素早く回転させると、各針が連続して回転します。リ्यूズを少し回すと止まります。

6. リ्यूズの位置を 0 にする

7. ㊸ ボタンを押して、終了する

オールリセットを行う

1. リ्यूズの位置を 1 にする

- クロノグラフ秒針がサマータイム設定を示します。

2. リ्यूズを回し、地域を「UTC」にする

- 地域名が中央に表示されるようにします。

3. リ्यूズの位置を 2 にする

4. ㊸ ボタンと ㊸ ボタンを同時に押す

- オールリセットが行われ、アラームが鳴ります。

オールリセットのあとは

- オールリセットのあとは、基準位置を合わせ直してください。その後、地域の設定を行い、手で電波を受信して(強制受信)、時刻とカレンダーを合わせ直してください。